



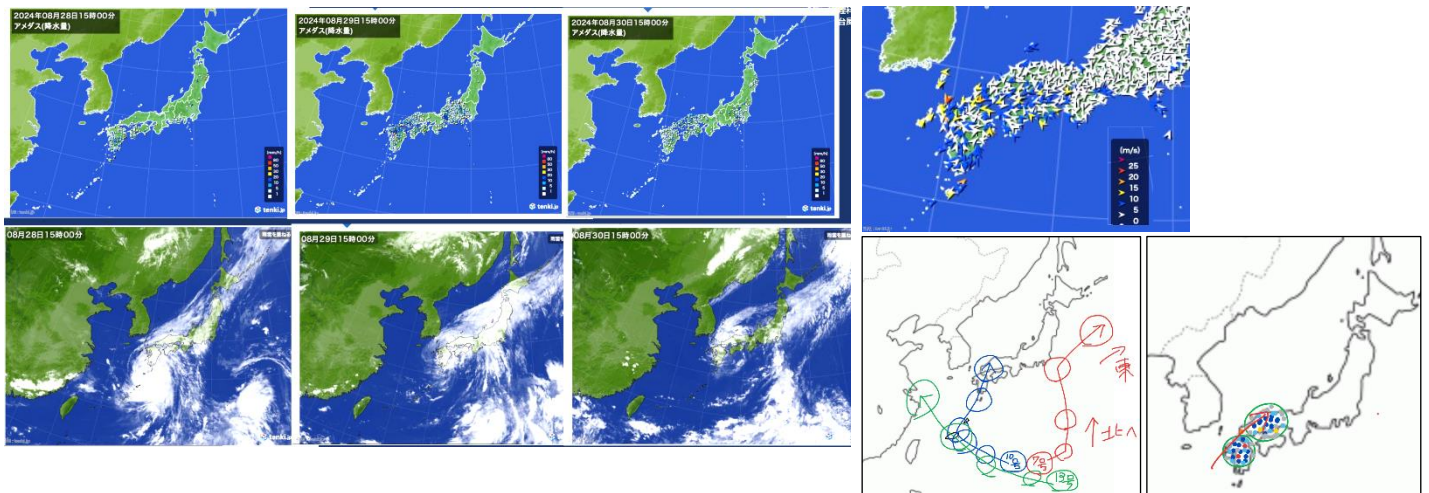
2024.10.18 第25号

森田 博

5年「台風と天気の変化」  
6年「大地のつくり」  
れき岩・砂岩・でい岩

## 台風の発生、進路、風速(25m/秒)、降水量(50mm/h)

5年生1学期の「天気の変化」の学習では、スプーンに雲を写したり、衛星画像を調べたりして雲の動き方と天気の変わり方を調べました。春の雲は西から東へ動くことや、天気は雲の量によって左右されることを学びました。今回は、台風の動き方と天気の変わり方を学習しました。夏休み8月下旬に発生した台風10号に着目し、当時のニュースや衛星画像など過去のデータを収集し、台風の進路や風速、降水量、天気の変化、被害など、さまざまな状況を調べました。まずは、「tenki.jp」のサイトから衛星画像を並べてみました。(上段：アメダス降水量 下段：衛星画像8/28~8/30 右：アメダス風速)



大きな雲のうすを巻きながら、沖縄、九州、中部、近畿へ近づく台風の動きが分かります。それを白地図へまとめました。また、降水量をアメダスで調べ、白地図へ色を置いていきました。進路と共に、局地的な大雨があったことも色で分かります。ICT活用によって、授業がガラッと変わり、全てロイロノート上での活動になっています。新聞記事を毎日切り取り、印刷して配布し、ノートに貼っていた時代。白地図を印刷し、色鉛筆で塗っていた時代。その時代はそれがベストでしたし、今でも、その仕方を取り組ませた方がよいと思うこともあります。デジタルとアナログの使い分けが大事だと思っていますが、やはり準備時間が大幅にカットできることや、児童が情報をweb検索から得ながら、一人一人がICT学習できることもメリットです。

## 水のはたらきでできた地層には、れき岩、砂岩、でい岩がふくまれる。

「地層から何が分かる？」この発問、実は、時事ニュースでも取り上げられていました。日本経済新聞の記事に、なんと「20億年前の地層から生きた微生物の存在を示唆する証拠」が見つかったというのです。「生きた微生物がいた！」ということではないので、可能性レベルの話みたいですが、すごいことです！もしかして火星にも生物が存在するかも！？というこれまた可能性があるという話にまで展開しているニュースです。これは今、理科室で6年生が学習している、地層にれき岩、砂岩、でい岩が見つかることから、水のはたらきで運搬、浸食、堆積して固まってきたとする考え方と同じような考察をしているんだよと結び付けました。



このように、最新の科学ニュースを授業で取り上げ、科学的な視野を広げていけるようにしています。